

研修マニュアル(精神科) ver.1.2

(2023/10/06 改訂)

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	初診 (9時:1診)	初診 (9時:1診)	初診 (9時:1診)	診察(病棟)	初診 (9時:1診)
午後	回診(14時頃:病棟) 医局会(16時:9Fカ ンファ) 患者割り当て(第1 週のみ:16時半頃: 病棟)	電気痙攣療法(14時 頃:手術室) 診察(病棟)	診察(病棟)	電気痙攣療法(14時 頃:手術室) 診察(病棟)	診察(病棟)

◎到達目標

精神科研修時の到達目標の目安

【知識】

- ・ 単独で患者の診察を行い、治療計画を独力で立てることができる。
- ・ 電気痙攣療法の手技と結果の解釈ができる。
- ・ 患者への傾聴を通して、何が解決に必要なかを把握することができる。
- ・ 患者や家族に対する病状や治療方針について、説明内容を立案することができる。
- ・ プレゼンテーションやレポート作成を通して、症例の診断、治療上の要点はどこにあるかを説明することができる。

【技術】

- ・ 初診(予診)患者:15例、入院患者:3例、リエゾン患者3例、電気痙攣療法:5例

◎初診(毎週月～金曜9時～/1診/担当:各初診医)

- ・ 学生とペアで予診を取る場合は、学生が診察、研修医がカルテ記載を担当する。学生がいない場合は、単独で予診を取る。
- ・ 初診に陪席し、各症例の解説やディスカッションに参加する。
- ・ 2診、3診での初診患者に呼ばれた場合も、上記と同様の手順で予診を取り、診察に陪席する。
- ・ 以上を通じて、初診の進め方を理解する。
- ・ 外来中待合に休診の掲示があった場合は、病棟診察あるいは自習とする。

◎回診（毎週月曜 14 時頃～／病棟／担当：塩入教授）

- ・ 月曜午前の初診時に、当日の回診時刻を塩入先生に確認しておく。
- ・ 回診に参加し、入院患者の診断、治療についてのディスカッションに参加する。。

◎患者割り当て（第 1 週月曜 17 時頃～／病棟／担当：武藤医師、高井医師）

- ・ 症例検討会終了後、もしくは続く製薬メーカーの説明会終了後に、武藤医師とともに病棟ナースステーションに入る。
- ・ 武藤医師より、実習初日に研修医 1 名につき、3 症例（統合失調症、気分障害、認知症）の割り当てを受ける。
- ・ 研修期間や本人の希望、その時の業務量に応じて、研修期間の任意の時期に、高井医師より新入院患者の割り当てを受ける。
- ・ 割り当て後は、即座に担当医とコンタクトをとり、患者の概要や診察上の注意、同席診察の日時について説明を受ける。

◎医局会（毎週月曜 16 時～／9F カンファレンスルーム）

- ・ 医局員の一員として、医局会に参加する。

◎診察（毎日／病棟）

- ・ 暴力、不穏などやむを得ない場合を除き、研修医単独で割り当てられた入院患者を毎日訪室する（危険を伴う場合は、担当医の許す範囲で細心の注意を払って診察を行う）。そのうち週 1 回以上は、診察室において研修医単独で診察する。
- ・ 毎日患者から得た所見は、（外出等で不在の場合も含めて）必ずカルテに記載する。
- ・ 病歴が不明な患者とも接触するため、患者の暴力や自傷などの衝動的な言動を助長しないよう細心の注意を払う。自身の危険も含めて対応に迷う場合は、速やかに指導医か病棟スタッフに相談すること。
- ・ 以上を通じて、入院患者の診療の進め方を理解する。

◎電気痙攣療法

- ・ なるべくすべての施術に参加する。
- ・ 参加する際は、当日 13 時頃に必ず施術医の PHS に電話し、実際の開始時刻を確認する。やむを得ず施術医に連絡が取れない場合のみ、病棟看護師に問い合わせる。
- ・ 術衣に着替えた上で、開始 5 分前までに該当する手術室で待機する。
- ・ 治療の概要について、施術医の解説を受ける。
- ・ 以上を通じて、電気痙攣療法の進め方を理解する。

◎クルズス(時刻, 場所は日程表参照/担当代表:武藤医師)

- ・ 実習初日に, クルズス全体の日程表を受け取る。
- ・ クルズスに参加し, 精神医学の各領域の概要を理解する。

◎その他

- ・ 当直は, 希望があれば行う。当日の当直医に連絡し, 病棟ホワイトボードに記載すること。
- ・ 休みを取る場合は, 必ず卒後研修センターに届け出た上で武藤医師(不在の場合は高井医師)に了解を取る。
- ・ 担当患者に限らず, 新たな拘束, 隔離, 簡易鑑定, 措置鑑定などに呼び出されたら参加する。
- ・ 研修初日が火曜日の場合は, 武藤医師に連絡して集合時刻の指示を受け, 同時刻に病棟で入院患者の割り当てを受ける。

◎サポートおよびトラブル発生時の対応(PHS と不在時間)

- ・ わからないこと, 困っていることがあったら必ず上級医に相談すること。上級医不在で患者様の件で 急ぎ対応が必要な際は指導医に連絡下さい。